

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第145号

2016年 6月



# やどりき水源林ニュース



発行 (公財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会  
 〒220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内  
 ☎045-412-2255 <http://www.ktm.or.jp> E-mail:midori@ktm.or.jp

## 定例観察会のお知らせ (費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

# 梅雨のやどりき水源林

雨雲に霞むやどりき水源林



やどりき水源林の水は、神奈川県の水源地として利用されており、酒匂川水系にあたります。標高1200m級の栗の木洞、鍋割山、雨山、檜岳を結ぶ約530haの森林からしみでた雨水が沢水となって寄沢となり、さらに中津川、川音川を経て酒匂川に注ぎます。そして一部は小田原市郊外の飯泉取水堰でポンプアップされ浄水場に送水後、県民の上水道となります。また一部は相模湾に注ぎ豊かな漁場として県民に潤いをもたらしています。例えば横浜市の水源は、道志川・相模湖・馬入川・企業団酒匂川・企業団相模川の5系統で、合わせて一日1,955,700m<sup>3</sup>にもなります。(横浜市水道局のHPより) 多くの恵みをもたらす県民の大切な水源の一つであるやどりき水源林にはどんな植物や動物がいるのでしょうか? いくつかご紹介します。

アカショウマ

サワガニ

ニシキウツギ

ウツギ



## ～やどりき水源林の地質のおはなし～

丹沢は、南の海で生まれ、今の姿になりました。水源林のある丹沢山系は、約2,000万～600万年前（新生代新第三紀の中頃から終り頃）に海底火山の噴出物が堆積した岩石－緑色凝灰岩－によってできた丹沢層群からなっています。緑色凝灰岩は「グリーンタフ」ともいい、水源林を歩いているとよく観察できます。

雨に濡れていると、このように暗緑色になりますが、乾いているときはエメラルドグリーンに見えるほど美しい緑色凝灰岩を観察することもできます。

また、およそ1700万年ほど前、はるか南の海底で噴火した海底火山が噴出した溶岩の一端を見ることもできます。

この溶岩は、枕状溶岩と言って、「林道コース」にあるんだよ！看板を目印に探してみてくださいね！



溶岩を示す看板

## 森の案内人からのオススメ情報(▽)/

雨の日は、ムササビやモモンガも、訪れる人間が少ないからか、ちょっと油断していて、うとうとしながら木のおうちから顔をだすことが多いみたい。運が良ければ会えるかも！？それに、多くの種類の夏鳥が水源林を訪れているよ。今しか出会えない野鳥を探してみませんか？

6/5 にいたモモンガ



### 6月のピックアップ

梅雨に入りました。雨でも、苔やシダの観察、クラフト作成をお楽しみいただけます。ぜひ水源林へお越しください。

カエルも鳴いてるかな♪



### 7月の水源林

夏には、特別プログラムとして、水生昆虫の観察を行っている週があります。7月は23日（土）、24日（日）、30日（土）になります。また、丸太切りクラフト体験を7月31日（日）に行います。ご家族でいかがでしょうか？